

週刊朝日

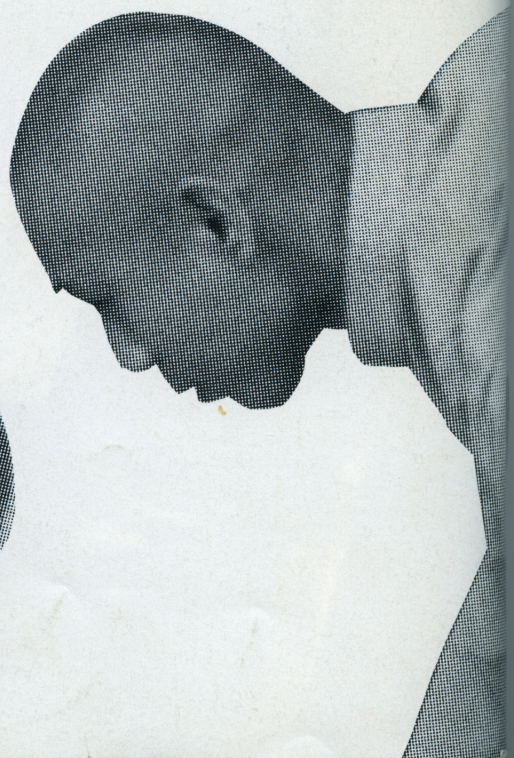
4月28日号

大正11年2月25日第3種郵便物認可 通巻4074号 1995年4月28日発行(毎週金曜日発行)

1995 定価280円

要保存

オウム、 裏部隊。





ここまで来た
先進医療
PART II

16

外反母趾

短時間の手術で矯正可能
早期なら装具療法でも治せる
第二指より親指の長い人はご用心

「二十八年ぶりに、おしゃれな靴を買おう」

と、喜びいさんでブティックに出かけた。ところが、足の変形がひどく、はけるパンプスがない。痛みもひどいので、慌てて慶応病院の整形外科を訪れた。

担当の井口傑講師がレントゲン撮影で調べたところ、両足の親指の付け根の関節が小指側に三〇度も曲がっている、中等度の外反母趾であることがわかった。関節部分は炎症で赤くふくらんでいた。

この病気が増えたのは、戦後、靴をはくのが日常化したのが主な原因といわれる。先の細くとがったパンプスやハイヒールをはいていた女性に多い。足が靴に押されて、指が変形してくると、神経を刺

激して痛みも出てくる。頭痛や腰痛を併発する人もいる。

「W子さんは、おそらく二十代に親指が変形して、そのままになっていたのでしょうか。一度、こんな状態になると、親指を引っ張っている腱が小指側に曲がるように働くと、靴をはかなくても病気が進行します。五十代になって痛みを感じる人が多いのは、このためです」（井口講師）

親指の曲がりの角度を「外反母趾角」といい、これが三〇度以上だと、手術療法の対象になる。W子さんは古い靴をはいて、なんとか旅行をす

ませたが、

「ちゃんと治して第二の人生を楽しみたい。お芝居に行くときぐらいは、おしゃれな靴もはきたい」と、手術を強く希望した。

このように、美容上の悩みから治療を受ける患者は多いそうだ。

手術のやり方は百種類以上あるという。骨折の治療と同じで、治療に手間をかけるほど予後がよいといわれる。しかし、患者は、手術時間も回復期間もできるだけ短い方法を希望する。井口講師は、「どの専門医も、少しでも時

〈手術療法〉主婦のW子さん（五十）は、昭和三十年代の後半にO.Lをしていた。当時、大流行のミニスカートと足先の細いハイヒールをはいて丸の内界限を闊歩していた。思えば、そのころ、すでに足の痛みを感じていた。電車内で長時間、立っているのもつらかったが、「ファッションが優先」と、おしゃれな靴をはき続けた。

二十四歳で結婚してからは、足の痛みは忘れていた。子育てが忙しくて、ハイヒールなどはく機会もなかった。最近、夫が定年を迎えたので、旧友たちと旅行することになり、



慶応大医学部
整形外科
井口 傑講師



聖テレジア病院
整形外科
加藤 正部長

間を短縮しようと、骨の切り方や固定の仕方などを工夫しています。私どもの方法は、

比較的短時間の割に予後もよく、最近の手術療法的主流になっています」



え・加藤 大

高血圧、心臓病などで 塩分の制限を うけているあなたに 理研無塩醤油を!



全国の薬局で。お問合せは発売元へ。

成人が健康を守るための一日の食塩の摂取量は、日本では10g以下、米国では8g以下が望ましいと発表されています。しかし、高血圧・心臓病などで特に塩分をおさえたい方は、一日の摂取量を7g以下にするというのがいまや常識となっています。

理研無塩醤油は、高血圧・心臓病などで本格的に食塩を制限している方のための食事療法剤です。食品である減塩醤油には入っていないリンゴ酸やアスパラギン酸などが、成分として含まれていて、効果的です。

風味も良く大変おいしい味に仕上がっていますので、味にうるさい方でも続けてご使用いただけます。あなたも理研無塩醤油で一日の食塩の量を7g以下におさえ高血圧、心臓病の治療に励んでください。

●腎臓病の方は、医師にも相談の上、お使いください。

製造元 理研化学 株式会社
東京都板橋区坂下3-6-1
発売元 株式会社 サンヘルス
フリーダイヤル 0120 (00) 5341

- 手術では、親指の付け根に近いところにある「第一中足骨」を適切な部分で切り、再びくっつけて曲がりを矯正する。外反母趾では、たとえば右足の場合、親指が右側（小指側）に曲がっているように見えても、実際は「く」の字の状態で第一中足骨は左を向いている。これを逆の向きに直すわけだ。手順は、
- ① 親指を小指側に引っ張っている外転筋をはずす。
 - ② 親指の付け根の出っ張った骨を一部切除する。
 - ③ 第一中足骨を切って小指側に曲げる。すると、親指の先は、反対に内側に戻って外反母趾が矯正される。
 - ④ 1・2ミリ径の鋼線を患部

に差し込み、さらにギプスで固定して終了。この鋼線はあとで抜き取るのが簡単なので、井口講師は好んで使っている。

W子さんの手術は非常にうまくいった。片足に要した手術時間は約一時間半。二週間後に抜糸し、六週間後にはギプスが取れて普通に歩けた。

鋼線は半年後、骨がしっかりとついたところで外来手術で抜いた。やがてテニスも楽しめるようになった。

最近、欧米では、鋼線の代わりに、足の中で吸収されてしまう固定材料や、固定の必要のない骨の切り方なども研究されている。こうした新技術もやがて日本に広まりそう

だ。

△保存療法▽早期発見すれば、保存療法で治るケースも少なくない。神奈川県内の小学生区子さん(三)は、通学時に親指の付け根に痛みを感じて、歩くのがつらくなった。手術しないで治せないものかと、家族に連れられ、東京都小金井市の聖ヨハネ会桜町病院を訪れた。

整形外科の加藤正部長(現在、鎌倉市の聖テレジア病院副院長)は、レントゲンによる「種子骨の軸射撮影」という診断法の考案者だ。種子骨というのは、ゴマ粒のような形をした二個の小さな骨で、親指付け根の関節の底側の線維組織内にある。関節の保護